

シンポジウム・特別講演・ワークショップ

10月11日(水曜日): 大会1日目

第1会場(大ホール)

9:10 - 12:00 国際シンポジウム

東南アジアにおける感染症の現状と日本に求めるもの

座長: 神原廣二(長崎大学熱帯医学研究所)

森田公一(長崎大学熱帯医学研究所)

The present situation of infectious diseases in Southeast Asian countries and desirable cooperation from Japan

Chairperson: Professor Hiroji Kanbara

(Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University)

Professor Kouichi Morita

(Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University)

IS - 1 Emerging diseases in Indonesia, its control and challenges

I NYOMAN KANDUN¹

1) Disease Control and Environmental Health, Ministry of Health, Jakarta, Indonesia

IS - 2 The role of multi-country networking in prevention and control of emerging and re-emerging infections

PATHOM SAWANPANYALERT¹

1) National Institute of Health, Dept of Medical Sciences, Ministry of Public Health, Northaburi, Thailand

IS - 3 Exploring fresh collaborative initiatives for combating infectious diseases in the Philippines

LUNINGNING P. ELIO-VILLA¹

1) National Center for Disease Prevention and Control, Dept of Health, Manila, Philippines

IS - 4 The present situation of infectious diseases in Vietnam and Vietnam-Japan collaboration

NGUYEN TRAN HIEN¹

1) National Institute of Hygiene and Epidemiology, Hanoi, Vietnam

13:50 - 14:50 特別講演 1

動物由来感染症対策

吉川 泰弘¹⁾

1) 東京大学大学院 農学生命科学研究科

座長: 竹内 勤(慶應義塾大学 医学部)

14:50 - 15:30 日本熱帯医学会・学会賞受賞講演

世界規模でのフィラリア症根絶計画に寄与するための基礎的・応用的研究

木村 英作¹⁾

1) 愛知医科大学 医学部 寄生虫学

座長: 竹内 勤(慶應義塾大学 医学部)

15:30 - 17:40 ワークショップ 2

世界フィラリア症根絶計画 - 大躍進と、足踏みと -

オーガナイザー: 木村英作 (愛知医科大学)

一盛和世 (世界保健機関 ジュネーブ本部)

高宮亜紀子（神戸大学大学院 医学系研究科）
座長：木村英作（愛知医科大学）
大前比呂思（国立感染症研究所）

- W02 - 1 PacELF（1）；大洋州における *Wuchereria bancrofti* の感染率分布状況 - ベースライン調査 -
一盛 和世¹⁾、高宮 亜紀子²⁾、古矢 佳男³⁾、JOSEFA KOROIVUETA⁴⁾
1) World Health Organization 2) 神戸大学大学院医学系研究科 3) 長崎大学国際連携研究戦略本部
4) Ministry of Health, Fiji
- W02 - 2 PacELF（2）；大洋州島嶼国におけるフィラリア症根絶対策評価サンプリングの事例
一盛 和世¹⁾、PATRICIA GRAVES²⁾、木村 英作³⁾、高宮 亜紀子⁴⁾、JOSEFA KOROIVUETA⁵⁾、TOM
BURKOT⁶⁾、NGUYEN NGOC LAM⁷⁾
1) World Health Organization 2) EpiVec Consulting 3) 愛知医科大学 4) 神戸大学大学院医学系研
究科 5) Ministry of Health, Fiji 6) Centers for Disease Control and Prevention 7) Institut Louis Malarde
- W02 - 3 PacELF（3）；ヴァヌアツのリンパ系フィラリア症とマラリアの疫学
高宮 亜紀子¹⁾、阿部 眞由美²⁾、GEORGE TALEO³⁾、MORRIS KALKOA³⁾、一盛 和世⁴⁾
1) 神戸大学 大学院 医学系研究科 2) 長崎大学熱帯医学研究所 3) Ministry of Health, Vanuatu
4) World Health Organization
- W02 - 4 PacELF（4）；フィジーフィラリア対策プログラムにおける抗フィラリア薬配布率向上への方策に関する一考察
JOSEFA KOROIVUETA¹⁾、SAMUELA TUIBEQA¹⁾、渡橋 浩子²⁾、高宮 亜紀子³⁾、一盛 和世⁴⁾
1) Ministry of Health, Fiji 2) United Nations Volunteers 3) 神戸大学大学院医学系研究科 4) World
Health Organization
- W02 - 5 東チモールにおけるフィラリア症の流行状況に関する経過報告
武居 敦英¹⁾、Amaral S²⁾、da Costa A³⁾、伊藤 誠¹⁾、Reeve D⁴⁾、Counahan M²⁾、Andjaparidze A²⁾、木村
英作¹⁾、大前 比呂思⁵⁾
1) 愛知医科大学 医学部 寄生虫学 2) WHO, Dili, Timor Leste 3) Ministry of Health, Dili, Timor Leste
4) Australian Institute of Tropical Medicine, James Cook Univ., Townsville, Australia 5) 国立感染症研究所
寄生動物部
- W02 - 6 フィラリア症の尿診断法におよぼすビルハルツ住血吸虫感染の影響
伊藤 誠¹⁾、WAMAE NJERI²⁾、高木 秀和¹⁾、KILIKU FRANCIS M. ²⁾、青木 克己³⁾、木村 英作¹⁾
1) 愛知医科大学 医学部 寄生虫学 2) Kenya Medical Research Institute 3) 長崎大学熱帯医学研究
所
-

18 : 00 - 19 : 30 自由集会 2

ブライアン・グリーンウッド先生を囲む会 - グリーンウッド先生、30年間のアフリカでの熱帯
医学の臨床と研究を語る -

世話人：有吉紅也（長崎大学熱帯医学研究所）

中岡大士（長崎大学熱帯医学研究所）

石井 明（実践女子大学）

第2会場（国際会議場）

09 : 20 - 11 : 50 ポスター口演 1 P 1 - 1 ~ 34

母子保健・リプロダクティブヘルス・人口/難民・緊急援助・災害疫学

13 : 30 - 15 : 50 シンポジウム 1

貧困と自然災害がもたらす感染症の危機管理

オーガナイザー：溝田 勉（長崎大学熱帯医学研究所）

座長：溝田 勉（長崎大学熱帯医学研究所）
國井 修（UNICEF 本部 Health Section）

- S1 - 1 インド洋津波災害における感染症の危機管理
國井 修¹⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所（UNICEF 本部 Health Section）
- S1 - 2 New Orleans における Hurricane Katrina 水害災害後の感染症 Surveillance 総括
樂得 康之¹⁾
1) チューレーン大学医療センター 公衆衛生熱帯医学大学院
- S1 - 3 パキスタン地震後の国際保健分野の支援事例
池上 清子¹⁾
1) 国連人口基金 東京事務所
- S1 - 4 災害後の緊急援助における越冬対策 - 避難民キャンプでの感染症対策を中心に -
神谷 保彦¹⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所
-

16:00 - 18:00 Workshop 3

Establishing demographic surveillance systems for the studies of tropical medicine and international health (in English)

オーガナイザー：我妻ゆき子（筑波大学）

金子 聡（長崎大学熱帯医学研究所 ナイロビ研究拠点）

金田英子（長崎大学熱帯医学研究所）

座長：David Sack (ICDDR,B)

我妻ゆき子（筑波大学）

- W03 - 1 Health and demographic surveillance system, Matlab: Past, present and future
ABDUR RAZZAQUE¹
1) HDSS-Dhaka, ICDDR,B, Dhaka, Bangladesh
- W03 - 2 Impact of maternal nutritional supplementation with respect to pre-pregnancy nutritional status, maternal weight gain and fetal growth: an application of Matlab DSS
YUKIKO WAGATSUMA¹, Lynnette M. Neufeld², Shams El Arifeen³, Dewan S. Alam³, Edward A. Frongillo⁴, Lars Åke Persson⁵
1) Department of Epidemiology, Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba, Ibaraki, Japan 2) National Institute of Public Health, Cuernavaca, Mexico 3) ICDDR,B: Centre for Health and Population Research, Dhaka, Bangladesh 4) International Nutrition, Cornell University, Ithaca, New York, USA 5) International Maternal and Child Health, Uppsala University, Uppsala, Sweden
- W03 - 3 The prospect of the Lahanam demographic surveillance system, Lao PDR
EIKO KANEDA¹, TIENGKHAM PONGVONGSA², BOUNGNONG BOUPHA³, KAZUHIKO MOJI¹
1) Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Japan 2) Station of Malariology, Parasitology & Entomology, Savannakhet Province, Lao PDR 3) National Institute of Public Health, Ministry of Health, Vientiane, Lao PDR
- W03 - 4 A platform development for demographic and health information system to support research and control of infectious diseases and health-related problems
SATOSHI KANEKO¹, MASA AKI SHIMADA², MOHAMED KARAMA³, NOBORU MINAKAWA¹, OSUKE KOMAZAWA², EMMANUEL MUSHINZIMANA⁴, KAZUHIKO MOJI², YOSHIO ICHINOSE¹, EIKO KANEDA²
1) Nairobi Research Station, Nagasaki University Institute of Tropical Medicine 2) Research Center for Tropical Infectious Diseases, Nagasaki University Institute of Tropical Medicine 3) Kenya Medical Research Institute 4) International Centre of Insect Physiology and Ecology
-

18:00 - 20:30 自由集会 1

人間を中心にしたマラリア対策 - ミャンマー JICA プロジェクトからの提言 -

世話人：島田 靖（特定非営利活動法人災害人道医療支援会 HuMA・日本医科大学多摩永山病院
救命救急センター）

白川千尋（国立民族学博物館先端人類科学研究部）

第3会場（会議室1 - 3）

13:30 - 16:00 ワークショップ1

感染症診断法の変遷 - 途上国でも利用できる検査法をめざして -

オーガナイザー：牛島廣治（東京大学 医学系研究科）

江下優樹（大分大学 医学部感染分子病態制御）

座長：岩永正明（さくら会 アワセ第1医院）

石井 明（実践女子大学 自治医科大学）

W01 - 1 呼吸器感染症における診断法の変遷

舘田 一博¹⁾、山口 恵三¹⁾

1) 東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座

W01 - 2 細菌性腸管感染症診断の変遷

寺嶋 淳¹⁾、泉谷 秀昌¹⁾、渡辺 治雄¹⁾

1) 国立感染症研究所 細菌第一部

W01 - 3 ヒトからマラリア原虫感染診断法の変遷

石井 明¹⁾

1) 自治医科大学 医動物学、実践女子大学

W01 - 4 ヒトと媒介蚊からのアルボウイルス検出の変遷

江下 優樹¹⁾

1) 大分大学 医学部 感染分子病態制御

W01 - 5 ヒト・環境からの下痢症ウイルス検出の変遷

牛島 廣治¹⁾

1) 東京大学 大学院医学系研究科 発達医科学

16:00 - 18:00 ワークショップ4

臨床熱帯感染症 - ケーススタディー -

オーガナイザー：大石和徳（大阪大学微生物病研究所感染症国際研究センター）

中村哲也（東京大学医科学研究所）

座長：大石和徳（大阪大学微生物病研究所感染症国際研究センター）

中村哲也（東京大学医科学研究所）

W04 - 1 2週間遷延する間欠熱に急性呼吸不全を合併した一例

八田 益充¹⁾

1) 東北大学 大学院 医学系研究科 内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野

W04 - 2 マラリア治療後の肝機能障害の一例

竹下 望¹⁾、菅沼 明彦¹⁾、柳澤 如樹¹⁾、今村 顕史¹⁾、味澤 篤¹⁾、根岸 昌功¹⁾

1) 東京都立駒込病院 感染症科

W04 - 3 エジプト滞在中に発熱・肝障害をきたした一例

古宮 伸洋¹⁾、中村 ふくみ¹⁾、大西 健児¹⁾

1) 東京都立墨東病院 感染症科

- W04 - 4 肝多房性嚢胞性病変を呈し、無症状で経過した肝蛭症の一例
前田 卓哉¹⁾、藤井 毅²⁾、伊賀 睦了¹⁾、小田原 隆²⁾、赤尾 信明³⁾、廣松 賢治⁴⁾、中村 哲也²⁾、
岩本 愛吉²⁾
1) 東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター 2) 東京大学 医科学研究所 感染免疫内科
3) 東京医科歯科大学 国際環境寄生虫病学 4) 宮崎大学 医学部 寄生虫学教室
-

- 18 : 00 - 20 : 30 自由集会 3
国際栄養ネットワーク - 発展途上国の栄養問題を考える -
(青年海外協力隊栄養士 OB 会)
世話人：石川みどり (名寄市立大学保健福祉学部栄養学科)
西田美佐 (発展途上国の栄養問題を考えるセミナー)
長谷部幸子 (発展途上国の栄養問題を考えるセミナー)
-

第 4 会場 (会議室 4 ・ 5)

- 15 : 30 - 17 : 30 ワークショップ 5
日本の感染症サーベイランスと熱帯病対策 -
オーガナイザー：吉村健清 (福岡県保健環境研究所)
座長：吉村健清 (福岡県保健環境研究所)
-

- W05 - 1 我が国の感染症サーベイランスについて
安井 良則¹⁾、多田 有希¹⁾、岡部 信彦¹⁾
1) 国立感染症研究所 感染症情報センター
- W05 - 2 地方感染症情報センターの役割
神谷 信行¹⁾、灘岡 陽子¹⁾、原 綾子¹⁾、池田 一夫¹⁾、矢野 一好¹⁾
1) 東京都健康安全研究センター
- W05 - 3 感染症情報を用いた地方自治体の感染症対策
森屋 一雄¹⁾
1) 佐賀県 健康福祉本部 健康増進課
- W05 - 4 熱帯感染症対策における検疫所と自治体との連携
岩崎 恵美子¹⁾
1) 厚生労働省仙台検疫所
- W05 - 5 感染症対策における大学と行政との役割
鈴木 宏¹⁾
1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 国際感染医学講座
-

- 18 : 00 - 20 : 30 自由集会 4
医療経済的観点から見た政策・プロジェクト評価
世話人：能勢幸代 (国立国際医療センター国際医療協力局)
-

第 5 会場 (リハーサル室)

- 09 : 20 - 11 : 50 ポスター口演 2 P 1 - 35 ~ 65
保健政策・保健計画 / タバコ・NID・その他 / 貧困・栄養・環境 / 健康教育・ヘルスプロモーション・その他 / 地域保健・PHC・その他
- 18 : 00 - 20 : 30 自由集会 5
HIV/AIDS 3 by 5 の教訓に基づいたユニバーサルアクセスにむけた支援戦略
世話人：石田 裕 (国立国際医療センター国際医療協力局)